

一般社団法人 社会医学系専門医協会
2023年度(第八期)事業報告

【期間】

第八期: 2023年(令和5年)7月1日~2024年(令和6年)6月30日

【事業内容】

1. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業

1) 指導医講習会の開催

各学会・団体が、学術総会のプログラムとして指導医講習会を開催した。

なかでも、全国保健所長会は、ブロックごとに実施した。 合計 19回

学会名	全国保健所長会(関東甲信越静ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年7月7日(金)15:20~16:20
学会名	全国保健所長会(東海北陸ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年7月28日(金)12:00~13:00
学会名	全国保健所長会(北海道ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年8月29日(火)14:50~15:50
学会名	全国保健所長会(九州ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年9月7日(木)12:00~13:00
学会名	全国保健所長会(東北ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年9月15日(金)15:15~16:15
学会名	日本産業衛生学会
タイトル	社会医学系専門医制度 指導医講習会
日時	2023年10月28日(土)14:00~15:00
学会名	日本公衆衛生学会
タイトル	社会医学系専門医 指導医講習会
日時	2023年10月31日(火)18:00~19:00
学会名	日本医療・病院管理学会
タイトル	社会医学系専門医制度の概要について
日時	2023年11月4日(土)11:00~12:00
学会名	全国保健所長会(中四国ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」

日時	2023年11月17日(金)12:00~13:00
学会名	日本医療情報学会
タイトル	第43回医療情報学連合大会 社会医学系専門医制度指導医講習会
日時	2023年11月24日(金)14:30~15:30
学会名	日本職業・災害医学会
タイトル	社会医学系専門医・指導医制度について
日時	2023年12月10日(日)12:30~13:30
学会名	全国保健所長会(近畿ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2023年12月22日(金)12:00~13:00
学会名	全国保健所長会(東京ブロック)
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2024年1月18日(木)16:10~17:10
学会名	全国保健所長会
タイトル	令和5年度 全国保健所長会「社会医学系専門医指導医研修会」
日時	2024年1月22日(月)11:00~12:00
学会名	日本疫学会
タイトル	メインシンポジウム 未来社会と疫学(社会医学系指導医講習会)
日時	2024年2月1日(木)10:50~12:10
学会名	日本疫学会
タイトル	シンポジウム6 疫学が創る災害にレジリエントな社会(社会医学系指導医講習会)
日時	2024年2月2日(金)15:10~16:30
学会名	一般社団日本災害医学会
タイトル	社会医学系専門医 指導医講習会
日時	2024年2月23日(金)8:00~9:00
学会名	日本衛生学会
タイトル	第94回日本衛生学会学術総会 社会医学系専門医協会指導医講習会
日時	2024年3月7日(木)18:10~19:10
学会名	第97回日本産業衛生学会
タイトル	社会医学系専門医協会指導医講習会
日時	2024年5月23日(木)13:40~14:40

2) 統括責任者連絡会議の開催

2024年3月16日及び30日にWeb会議システムを用いて開催した。その後、動画を作成してそれを視聴することでの参加も可能として実施した。

3) 基本プログラム講習会の開催

講習会は開催しなかった。基本プログラムは、eラーニングを用いて提供した。

E ラーニングコンテンツの更新を行うこととし、関連学会等を通じて、講師の選定、動画作成依頼を行った。

4) eラーニングの活用と運営

社会医学系eラーニングコンソーシアムと連携し運営を行った。

5) 更新研修会の開催

更新ルールの広報・周知を、指導医講習会等を中心に各学会・団体で行った。

6) 基本プログラムの認定

大学院などの講義・研修について基本プログラムの認定を行った。

2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業

1) 専門医・指導医認定委員会の開催

2023年度は7月2日、9月3日、12月23日の計3回開催した。

回	概要
第1回	<p>(1) 第5回専門医認定試験の受験資格審査</p> <ul style="list-style-type: none">・ 応募期間 4月7日～5月31日、書類審査 6月24日・ 受験申請 86名(産業衛生学会 43名、公衆衛生学会 37名、疫学会 3名、災害医学会 3名)・ 2名について、申請書類を画面共有しながら審議した結果、いずれも受験資格を有していることを確認した。・ 今後、研修プログラム責任者会議で周知する事項・ 研修期間は3年間以上を基本とすること。・ 基本プログラムをeラーニングで視聴する場合は、視聴した日を記載すること。49時間分のプログラムは1日では視聴できないこと。 <p>(2) 第5回専門医認定試験の実施方法(試験分科会からの報告)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 面接・グループワーク監督官の配置の決め方・ 各学会・団体から推薦された面接・グループワークの監督官については、所属施設名を明示してもらい、同施設の受験生を監督することがないようにする。・ 面接8部屋、グループワーク3部屋が必要なので、試験監督官として33名を確保する。産業衛生学会、公衆衛生学会以外はすでに推薦書が提出されている。・ グループワークの時間を60分から30分に短縮する <p>(3) 更新手続き・今後のスケジュールのご案内(2023年度更新申請用)の検討</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2022年度と同様、学会支援機構のシステムを用いて行うこととし、協会ホームページに

	<p>掲載する「専門医・指導医の更新について(更新 手続き・今後のスケジュールのご案内)」(2023 年度更新申請用)を審査した結果、承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導医講習会スライド(2023 年度版)を修正して、協会ホームページに公開した。
第2回	<p>(1) 第5回社会医学系専門医認定試験の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受験者 86 名(全員、Web 方式で実施) ・ 合否判定結果 合格 80 名、不合格 6 名 ・ 筆記試験(100 点満点)で 60 点未満の受験者は 6 名で、内訳は 50 点が 1 名、52 点が 2 名、54 点が 2 名、56 点が 1 名だった。合否判定委員会での審議の結果、面接試験、グループワークの成績を踏まえ、50~54 点の 5 名は不合格とし、56 点の 1 名は合格とした。 ・ 面接試験(4 点満点)で複数の試験官が 1 点をつけた受験者は 1 名だった。その理由として、面接官のコメントは「実践経験レポートが一般的な内容で、面接での得た返答がなかった」であった。合否判定委員会での審議の結果、実践経験が乏しいことが判明し、1 名を不合格と判定した。 ・ 今回は、筆記試験の不正検出のため、(株)CBT ソリューションズ(Internet Based Testing システムの受託業者)が提供する AI(人工知能)機能を用いた監視システムを採用した。後日確認し、不正行為と疑わしい事例があればメール審議とする。 ・ 不合格者への連絡の留意点 ・ 筆記試験又は面接試験の結果が原因で不合格になったこと。 ・ 来年度以降の受験資格があり、受験する際には、筆記試験、面接試験、グループワーク全てを受けること。 ・ 不合格者へのフォローアップについて ・ 筆記試験の不合格者から問い合わせがあれば、基本プログラムの e-learning コンテンツを再度視聴することが望ましい旨を伝える。 ・ 面接試験の不合格者から問い合わせがあれば、指導医と相談の上、実際の経験をレポートにまとめ、来年度以降の試験に対応することが望ましい旨を伝える。
第3回	<p>(1) 更新審査の方法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出された 144 名の書面を確認した結果、更新要件を満たしていない可能性のある申請者は 12 名だったので、協会事務局より不足書類の提出を求めた。 ・ 提出資料で疑義が認められた 12 名について、画面共有しながら審査した。 <p>(2) 更新申請に係る審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 名については更新要件を満たしていないため、更新保留と判定した。 ・ 今後、追加で資料が提出され、協会事務局において更新要件を満たしていると判断できた場合には、次回理事会において更新可として報告することとした。 <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通講習の単位不足により保留と判定された申請者に対し、臨床系の学会が主催する共通講習も認定の対象となることを教示すべき。 ・ 更新申請にかかるホームページでは、図に示された(1)、(2)の表記と、手続きに関する

	<p>る記載の(1)、(2)の表記が紛らわしいため、次回からA、Bなどの別の記載とすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の申請で基本プログラムのe-ラーニングをK単位として申請したいとの意向があったが、K単位としてのカウントのルールを検討すべき。 <p>(3) 特例措置による社会医学系専門医・指導医の審査</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請のあった38名の全員について、要件を満たしていると判定した。 <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、所属歴が8年以上の学会・団体の推薦書を提出するように改善すべき。 社会医学系活動の経験を表す例の例示として、労災病院で実施されている治療と就労の両立支援活動やコーディネーターを加筆すべき。
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2) 指導医及び専門医の更新

更新対応について、委員長と事務局との打合せを12月21日に実施した。

表1 指導医及び専門医の更新の状況

鍵となる学会名	対象	更新申請	延長・休会	辞退	未反応
日本医療・病院管理学会	32	6	0	1	25
日本医療情報学会	30	2	1	0	27
日本衛生学会	19	1	0	0	18
日本疫学会	49	8	6	0	35
日本公衆衛生学会	290	59	26	2	203
日本災害医学会	122	17	8	0	97
日本産業衛生学会	199	48	21	1	129
日本職業・災害医学会	79	3	3	0	73
計	820 (100%)	144 (18%)	65 (8%)	4 (0%)	607 (74%)

【更新の状況別の今後の対応方針】

A. 更新可とされた者

- 理事会の後に、「専門医・指導医の更新審査の結果について」（合格者用）に氏名、登録番号を記載して、「社会医学系専門医の認定登録（認定証の交付）手続きについて」、社会医学系専門医登録申請書を添付して郵送する。
- 登録申請書の提出および入金が確認できれば、順次、認定証を郵送する。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新済」を協会 Web サイト上に公表する。

B. 更新保留とされた者

- 事務局より、満たしていない項目、不足している書類を本人に伝達。
- 理事会の後に、「専門医・指導医の更新審査の結果について」(保留者用)を郵送する。
- 上記の通知には、①追加資料を 2025 年 3 月 31 日までに提出することを求める、②第1次締切を 5 月 31 日とする、③不足していた単位については、2024 年 4 月以降に取得したのも認めることを付記する。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新保留」を協会 Web サイト上に公表する。
- 追加で事務局に届いた資料を事務局で審査し、更新可能と判断された事例については、「専門医・指導医の更新審査の結果について」(合格者用)に氏名、登録番号を記載して、「社会医学系専門医の認定登録(認定証の交付)手続きについて」、社会医学系専門医登録申請書を添付して郵送する。
- 登録申請書の提出および入金を確認できれば、順次、認定証を郵送する。

C. 更新延長申請者

- 「専門医・指導医の更新について(更新手続き・今後のスケジュールのご案内)」(2024 年 6 月掲載 予定)が協会 Web サイトにアップされれば、その旨をメールで通知する。
- その際に、2024 年度に更新申請をする場合は、以下の金額になることを通知する。
- 2017 年度に専門医・指導医を取得した場合 審査料 15,840 円(消費税込)
- 2018 年度に専門医・指導医を取得した場合 審査料 13,860 円(消費税込)
- 2019 年度に専門医・指導医を取得した場合 審査料 11,880 円(消費税込)
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新延長」を協会 Web サイト上に公表する。
- 更新申請の期限は、2024 年 11 月 30 日とし、令和6年度第2回専門医・指導医認定委員会(12 月頃)に審査を行う。

D. 登録辞退者

- 2024 年 3 月 31 日をもって、専門医・指導医の認定は失効する。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。

E. 未反応者

- 毎年度、登録料(年間 5,000 円)の督促を行う。
- 必要に応じて、往復はがき又は電話による意向確認を行う。
- 更新申請が行われた場合は、「更新延長申請者」と同様の取扱いとし、審査料(消費税込)は 9,900 円+1,980 円×(延長年数)として、最長 3 年間は申請を受け付ける。
- 「都道府県」、「氏名」、「専門医／指導医の区分」、「その他」を協会 Web サイト上に公表する。

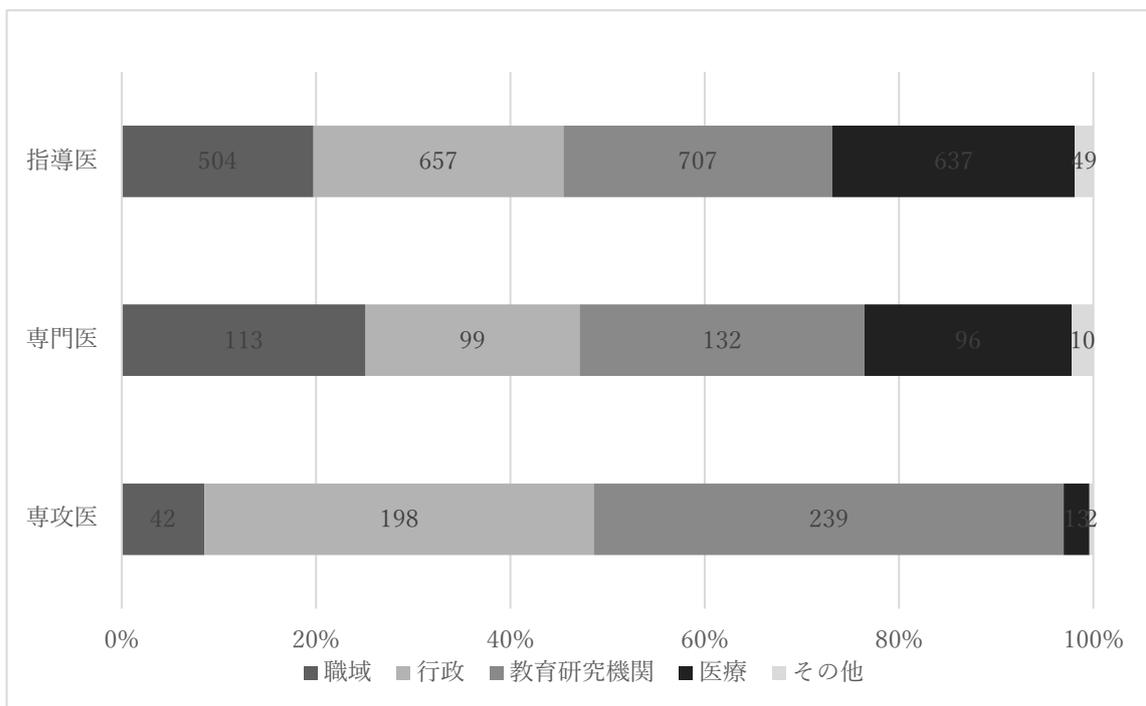
- 2017 年度に専門医・指導医を取得した場合 2025 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。
- 2018 年度に専門医・指導医を取得した場合 2026 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。
- 2019 年度に専門医・指導医を取得した場合 2027 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。

3) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付

2024 年 6 月末時点での登録者数は、3,498 名となった。

(指導医 2,554 名、専門医 450 名、専攻医 494 名)

表 2: 主たる所属割合 (2024 年 6 月末時点)



4) 専門医認定試験の準備と運営

2023 年 7 月 29 日に試験問題作成に係るブラッシュアップ会議を開催した。

2023 年 9 月 10 日に日本医師会館 (東京都文京区) にて第 5 回専門医試験を開催した。

受験者 86 名 (全員 Web 方式で実施)

表 3 受験生の内訳: 主分野と主たる所属

主分野	所属					計
	行政	職域	教育研究機関	医療機関	その他	
行政・地域	30	0	4	0	0	34

産業・環境	3	31	4	1	4	43
医療	0	0	5	4	0	9
計	33	31	13	5	4	86

合否判定結果 合格 80 名 不合格 6 名

合格した 80 名を 2023 年 9 月 10 日の理事会において専門医として認定し、認定証の交付を行った。

2024 年 9 月 7 日/8 日開催の第 6 回専門医認定試験に向け、試験分科会を組織し 2023 年 12 月 12 日、2024 年 1 月 23 日に開催した。分科会のもとに、募集要項の改定、試験開催方法、試験問題作等について検討を行った。第 6 回専門医認定試験より受験者が増加することを踏まえ、筆記試験と口頭試験 2 日に分けて開催することとした。

受験資格A、B共通の概要

- 筆記試験:2024 年 9 月 7 日(土) 全国一斉開催 CBTソリューションズ保有全国 350ヶ所以上の会場のうち、受験者が希望する会場にて行う(面接のキーステーションは医師会館 1ヶ所)
- 口頭試験:2024 年 9 月 8 日(日) 受験者 1 名に対し面接官 3 名 いずれもWEB方式
- 試験問題は基本問題、応用問題合計 50 問、現行の基本プログラム e ラーニングの内容からの出題 合否判定は 2024 年 9 月 8 日(日)に行う
- 受験料:19,800 円(消費税 10%込)
- 受験資格A:実践レポート提出 5 件、面接時間 10 分程度
- 受験資格B(ミドル):実践レポート提出 15 件、面接時間 20 分程度

また、受験資格審査のため、委員長、試験分科会長による専門医認定試験事前会議を 2024 年 6 月 22 日に行った。

5) 専門医・指導医資格更新基準の理解の普及

2023 年 7 月 10 日に、更新手続き・今後のスケジュールのご案内(2023 年度更新申請用)を協会ホームページで広報した。

また、構成学会・団体の学術総会、講習会等で、更新手続の改定について広く普及させることを目的として、2023 年度版の指導医講習会用のスライドを改定し、協会ホームページに掲載した。

6) 専門医、指導医の追加認定基準に関する検討と制度化

シニア世代向けに資格付与対象を拡大するために、特例措置による社会医学系専門医・指導医を募集することとし、2024 年 4 月 1 日から受付を開始した。

【申請要件】下記の(1)～(5)の全てを満たす場合には、特例措置による社会医学系専門医・指導医として、社会医学系専門医協会に申請できる。

(1) 指導医講習会を受講済であること

(2) 社会医学系専門医協会構成学会・団体の会員・所属歴が8年以上の者

(3) 医師免許取得後 20 年以上経過していること

- (4) 社会医学系活動の経験が、通算 10 年以上あること〔注 1〕
- (5) 会員・所属歴が8年以上の学会・団体から推薦された社会医学系専門医協会理事1名の推薦を受けること〔注 2〕
- 〔注 1〕「社会医学系活動の経験」とは、「社会医学系活動の実践例」の活動を実践することをいう。
- 〔注 2〕所属時期が重なっていない場合に限り、所属歴の合算が可能。
- <所属歴の合算方法>
- 2つ以上の構成学会・団体における所属歴を合算する場合
- 所属歴を算出した学会・団体すべてにおいて、推薦を受けること。

第6回専門医認定試験から、ミドル世代向けに受験資格を拡充するため、受験資格 B を創設した。

- 【受験資格 B】以下の要件を全て満たす者とする。
- (1) 医師免許取得後 10 年以上経過していること
- (2) 臨床研修 2 年修了者（2004 年以降に医師国家試験を合格した者に限る）
- (3) 社会医学系専門医協会構成学会・団体の会員・所属歴が3年以上であること
- (4) 基本プログラム（7 科目×7 時間＝49 時間）を履修していること
- (5) 臨床系の専門医、指導医又は認定医を有していること
（過去に専門医、指導医又は認定医を有していた場合も可）
- (6) 協会構成 8 学会の学術大会及び公衆衛生情報研究協議会研究会での発表（筆頭演者に限る）または協会構成 8 学会誌への論文発表（筆頭著者に限る）が 1 件以上あること。
- (7) 以下の(a)から(c)の全てを含む社会医学系活動の経験が、常勤換算で通算 5 年以上あること。
- (a)行政・地域分野または産業・環境分野でパートタイムの業務を経験している
- (b)行政・地域分野または産業・環境分野の学術集会への参加経験がある
- (c)行政・地域分野または産業・環境分野の委員会への参加経験がある
- (8) 実践レポートを医療分野 5 件、行政・地域分野 5 件、産業・環境分野 5 件の計 15 件以上を作成し、社会医学系専門医・指導医のチェックを受けていること

7) 専門医制度の法制化を目指した活動

医師、歯科医師、薬剤師統計の専門医の項目に社会医学系専門医が掲載されるよう厚生労働省医政局医事課長に働きかけを行った（2023 年 7 月 7 日）。

2024 年 12 月に行われる三師調査の「医師届出票」の項目に、公衆衛生業務および社会医学系専門医が掲載されるよう厚生労働省医政局医事課長に働きかけを行った（2024 年 3 月 19 日）。

その後以下の項目からなる「医師届出票」の記載に関する要望書を理事会の持ち回り審議で決定し、医政局医事課長あてに提出した（2024 年 4 月 12 日）。

- ・ 新型コロナウイルス感染症や今後のパンデミックの流行に備えた公衆衛生に従事する医師の重要性が認識されるなか、公衆衛生の専門性をもつ医師数と分布を公的に把握するため、「主たる業務内容」の欄において、「公衆衛生業務」を追加すること
- ・ 「取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名および麻酔科の標榜資格」（等）の欄

において、「社会医学系専門医」を追加すること

3. 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業

1) 研修プログラム認定委員会の開催

8月7日、9月6日、6月27日、の計3回開催した。

2) 研修プログラムの登録申請受付、認定、登録

新規登録申請の要請はなかった。現在、認定された研修プログラム数は合計76件である。

3) 全国の研修プログラムの現状報告と評価

登録された全研修プログラムより、年度活動(2022年4月1日～2023年3月31日)の現状報告(全研修手帳含む)を受け、各々について委員会で評価した。

4) 基本プログラム相当の講義等の新規認定、維持・更新

1機関の課程・科目を基本プログラム相当として部分認定した。2機関の課程・科目について、審議中である。

5) 専攻医

2024年6月末時点の専攻医数は494名となった。

4. 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

1) 企画調整委員会の開催

2024年1月24日、2024年5月8日の計2回開催した。

2) 広報活動の検討

3) その他、当制度の評価と発展に関する事項

4) 幹事(2名)で以下の業務を実施

- ・毎月のメールマガジンの発行
- ・2023年11月医学系専門医構成学会に友好学会を追加する事案に向けた概要資料作成
- ・2024年3月専門医制度の法制化を目指した活動について要望書の原案作成
- ・構成学会学術集会等への社会医学系専門医ブース出展等の提案等
- ・日本医学教育学会との合同シンポジウム(第55回日本医学教育学会大会 2023/7/28～29) 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度版)からみた社会医学・公衆衛生学教育
- ・第82回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム(2023/10/31～11/2)

VUCA 時代に対応可能な医師の確保・育成：公衆衛生学を見据えた医学教育からキャリアへの展開

- ・2024年5月第97回日本産業衛生学会への社会医学系専門医ブース出展
- ・American College of Physicians (ACP) Japan Chapter (米国内科学会・日本支部) 年次総会・講演会 2024(2024/06/22~23)
- 臨床研究論文をいかに Publish するか：公衆衛生との知の融合

5. 国内外の関連団体との連携及び協力

1) 連携の検討(学会との共催の研修の推進含む)

構成学会との合同シンポジウム等を、米国内科学会・日本支部(ACP)、日本医学教育学会との連携を深める方向で検討した。

6. 社会医学系専門医の普及及び啓発に関する事業

1) 社会医学系専門医協会ホームページの運営

ホームページの掲載内容の更新を適宜行った。

2) ニュースレターの発行

2023年7月26日 ニュースレターVol.7 No.2(2023年夏号) 発刊

2023年10月26日 ニュースレターVol.7 No.3(2023年秋号) 発刊

2024年1月10日 ニュースレターVol.7 No.4(2023年冬号) 発刊

2024年4月19日 ニュースレターVol.8 No.1(2024年春号) 発刊

3) メルマガの配信

2020年4月より専攻医・専門医・指導医を対象としたメール配信を実施。
本年度は重要なお知らせについて月1回(毎月末)の配信を行った。

7. 法人運営のための事業

1) 定時社員総会・臨時社員総会の開催(3回)

定時社員総会：2023年9月10日

第7期決算、第7期事業報告、第8期事業計画、第8期予算、理事の選任について

臨時社員総会：2024年2月22日、2024年4月18日

理事の選任について

臨時社員総会：定款変更について、社員承認規程・旅費規程・報酬規程について、第9期事業計画、第9期予算案について

2) 理事会の開催(7回)

2023年9月10日、2023年11月8日、2023年11月13日、2024年2月19日、
2024年4月3日、2024年4月5日、2024年6月7日

3) 業務執行理事会の開催(12回)

2023年7月10日、2023年8月8日、2023年9月26日、2023年10月17日、
2023年11月20日、2023年12月18日、2024年1月30日、2024年3月16日、
2024年4月22日、2024年5月9日、2024年5月27日、2024年6月25日

4) 役員の選任・交代

2023年9月10日重任(社員総会)

今中雄一(理事長)(日本医療・病院管理学会)、黒田嘉紀(日本衛生学会)、林朝茂(日本産業衛生学会)、井上茂(日本疫学会)、近藤久禎(日本災害医学会)、佐藤譲(日本職業・災害医学会)、家保英隆(全国衛生部長会)、内田勝彦(全国保健所長会)、岸本剛(地方衛生研究所全国協議会)、中村桂子(全国衛生学公衆衛生学教育協議会)、角田徹(日本医師会)、大久保靖司(副理事長)(指名理事)、大神明(指名理事)、小橋元(指名理事)、前田光哉(指名理事)、和田裕雄(指名理事)

2023年9月10日選任(社員総会)

山縣然太郎(日本公衆衛生学会)、松村泰志(日本医療情報学会)、磯博康(日本医学会連合)

2024年3月12日選任(臨時社員総会)

三上容司(日本職業・災害医学会)、大久保孝義(日本疫学会)、藤田利枝(全国保健所長会)

2024年5月3日選任(臨時社員総会) 亀井美登里(日本衛生学会)

以上

貸借対照表

2024年 6月30日現在

一般社団法人社会医学系専門医協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	123,422,356	119,578,513	3,843,843
未収金	0	1	△ 1
前払費用	137,336	188,100	△ 50,764
流動資産合計	123,559,692	119,766,614	3,793,078
資産合計	123,559,692	119,766,614	3,793,078
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,292,082	6,597,173	△ 2,305,091
前受金	1,148,400	0	1,148,400
前受会費(年間登録料)	11,006,350	11,399,500	△ 393,150
預り金	55,287	10,414	44,873
仮受金	205,000	240,000	△ 35,000
未払消費税等	230,000	0	230,000
流動負債合計	16,937,119	18,247,087	△ 1,309,968
負債合計	16,937,119	18,247,087	△ 1,309,968
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	106,622,573	101,519,527	5,103,046
正味財産合計	106,622,573	101,519,527	5,103,046
負債及び正味財産合計	123,559,692	119,766,614	3,793,078

正味財産増減計算書

2023年 7月 1日から2024年 6月30日まで

一般社団法人社会医学系専門医協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	23,687,900	34,482,000	△ 10,794,100
申請料収入	2,924,000	8,124,000	△ 5,200,000
専門医試験料	720,000	1,020,000	△ 300,000
更新審査料	1,844,000	7,084,000	△ 5,240,000
特例措置審査料	360,000	20,000	340,000
認定登録料収入	5,370,050	10,523,000	△ 5,152,950
年間登録料収入	15,393,850	15,835,000	△ 441,150
雑収益	515,404	134,293	381,111
受取利息	436	477	△ 41
雑収益	514,968	133,816	381,152
経常収益計	24,203,304	34,616,293	△ 10,412,989
(2) 経常費用			
事業費	19,100,258	19,189,077	△ 88,819
旅費交通費	774,493	212,416	562,077
委員会・分科会	147,694	0	147,694
専門医試験実施	620,469	185,480	434,989
その他	6,330	26,936	△ 20,606
会議費	711,605	320,211	391,394
理事会・社員総会	46,200	29,700	16,500
委員会・部会費	52,800	36,300	16,500
会議室使用料	403,100	131,708	271,392
専門医試験会場費等	152,295	95,503	56,792
ネット会議システム使用料	57,210	27,000	30,210
印刷製本費	551,708	777,082	△ 225,374
コピー・プリント代	64,290	55,310	8,980
認定書等印刷	487,418	721,772	△ 234,354
通信運搬費	574,010	800,014	△ 226,004
消耗品費	12,284	1,644	10,640
開発保守費	721,105	400,510	320,595
HP作成費	237,105	400,510	△ 163,405
研修記録管理システム	484,000	0	484,000
支払手数料	30,030	37,180	△ 7,150
謝金	864,011	473,900	390,111
広報活動講師謝金	104,548	0	104,548
専門医試験謝金	759,463	473,900	285,563
租税公課	300,000	70,000	230,000
事務委託費	13,893,432	15,099,889	△ 1,206,457
協会事務局委託	11,235,049	13,607,614	△ 2,372,565
税理士報酬	629,010	0	629,010
専門医試験事務委託	2,029,373	1,492,275	537,098
調査活動費	70,000	0	70,000
広告宣伝費	82,600	0	82,600
雑費	514,980	996,231	△ 481,251
経常費用計	19,100,258	19,189,077	△ 88,819
評価損益等調整前当期経常増減額	5,103,046	15,427,216	△ 10,324,170
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,103,046	15,427,216	△ 10,324,170
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,103,046	15,427,216	△ 10,324,170
一般正味財産期首残高	101,519,527	86,092,311	15,427,216
一般正味財産期末残高	106,622,573	101,519,527	5,103,046
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	106,622,573	101,519,527	5,103,046

収支計算書

2023年 7月 1日から2024年 6月30日まで

一般社団法人社会医学系専門医協会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	32,500,000	23,687,900	8,812,100
申請料収入	6,000,000	2,924,000	3,076,000
専門医試験料	800,000	720,000	80,000
更新審査料	5,150,000	1,844,000	3,306,000
特例措置審査料	50,000	360,000	△ 310,000
認定登録料収入	9,000,000	5,370,050	3,629,950
年間登録料収入	17,500,000	15,393,850	2,106,150
雑収入	143,651	515,404	△ 371,753
受取利息	10,000	436	9,564
雑収入	133,651	514,968	△ 381,317
事業活動収入計	32,643,651	24,203,304	8,440,347
2. 事業活動支出			
事業費	49,026,640	19,100,258	29,926,382
旅費交通費	7,380,000	774,493	6,605,507
総会	280,000	0	280,000
理事会	840,000	0	840,000
業務執行理事会	360,000	0	360,000
委員会・分科会	4,500,000	147,694	4,352,306
専門医試験実施	500,000	620,469	△ 120,469
その他	900,000	6,330	893,670
会議費	2,850,000	711,605	2,138,395
理事会・社員総会	270,000	46,200	223,800
委員会・部会費	660,000	52,800	607,200
会議室使用料	1,300,000	403,100	896,900
専門医試験会場費等	500,000	152,295	347,705
ネット会議システム使用料	120,000	57,210	62,790
印刷製本費	2,385,000	551,708	1,833,292
コピー・プリント代	1,500,000	64,290	1,435,710
認定書等印刷	510,000	487,418	22,582
パンフレット・チラシ印刷	375,000	0	375,000
通信運搬費	2,335,000	574,010	1,760,990
消耗品費	700,000	12,284	687,716
E-ラーニング保守管理費	4,100,000	0	4,100,000
E-ラーニング教材作成費	700,000	0	700,000
E-ラーニングシステム利用費	3,400,000	0	3,400,000
開発保守費	7,500,000	721,105	6,778,895
HP作成費	1,000,000	237,105	762,895
会員管理・申請システム	4,000,000	0	4,000,000
研修記録管理システム	2,500,000	484,000	2,016,000
支払手数料	116,640	30,030	86,610
謝金	2,960,000	864,011	2,095,989
研修等講師謝金	1,960,000	0	1,960,000
広報活動講師謝金	0	104,548	△ 104,548
専門医試験謝金	1,000,000	759,463	240,537
租税公課	70,000	300,000	△ 230,000
事務委託費	15,330,000	13,893,432	1,436,568
協会事務局委託	12,000,000	11,235,049	764,951
税理士報酬	330,000	629,010	△ 299,010
専門医試験事務委託	3,000,000	2,029,373	970,627
調査活動費	2,000,000	70,000	1,930,000
研修費	300,000	0	300,000
広告宣伝費	0	82,600	△ 82,600
雑費	1,000,000	514,980	485,020
事業活動支出計	49,026,640	19,100,258	29,926,382
事業活動収支差額	△ 16,382,989	5,103,046	△ 21,486,035
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	△ 16,382,989	5,103,046	△ 21,486,035
前期繰越収支差額	101,519,527	101,519,527	0
次期繰越収支差額	85,136,538	106,622,573	△ 21,486,035

財産目録

2024年 6月30日現在

一般社団法人社会医学系専門医協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	三井住友銀行大塚支 ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	48,010,052
	前払費用			75,412,304
				137,336
流動資産合計				123,559,692
資産合計				123,559,692
(流動負債)	未払金	次年度以降年間登録料		4,292,082
	前受金			1,148,400
	前受会費			11,006,350
	預り金			55,287
	仮受金			205,000
	未払消費税等			230,000
流動負債合計				16,937,119
負債合計				16,937,119
正味財産				106,622,573